

平成29年度 事業計画

日本政府観光局（JNTO）によると、2016年の1年間に日本を訪れた外国人旅行者は、統計を取り始めた1964年以降、過去最多となる前年比21.8%増の2404万人で、4年連続での最高を更新しております。これまで、過去最高だった昨年の1974万人から約430万人上回っております。但し、伸び率では、昨年の47.1%増から低下しており、成長鈍化という側面も見られます。

主な増加要因としては、航空路線の拡充やクルーズ船寄港数の増加、ビザの緩和、消費税免税制度の拡充等と考えられております。

外国人旅行者の国別では、1位が中国で前年比27.6%増の637万人と初めて600万人台に達し、2位の韓国が初めて500万人台を、3位の台湾も初めて400万人台を超えと続けております。

さて、道内への訪日外国人来道者数は、直行定期便の新規就航や、桜やラベンダーに人気がある韓国やマレーシア等が大きく伸びたことなどから、昨年上半期で994千人（+10%）となっており、100万人に迫る勢いとなっております。道内の雄大な自然・豊かな食・温泉などを目的に観光しており、今後、更なる受入れ環境整備の充実と「安心・安全な北海道」のPRに努めていかなければなりません。

●ポロト地域のアイヌ民族博物館への対策としては、2020年（平成32年）に民族共生象徴空間「国立アイヌ民族博物館・国立民族共生公園」が完成する予定であり、その整備に伴い、2018年3月31日をもって既存の「アイヌ民族博物館」が閉館することとなっております。「国立アイヌ民族博物館」等が完成後、多くの観光客の受入れ体制とPR活動の強化を図るため、登別洞爺広域観光圏協議会や登別市・白老町観光連絡協議会、更には白老町観光誘客推進会議と連携を図りながら道内外の誘客活動等を実施してまいります。

●虎杖浜地域への対策としては、虎杖浜竹浦観光連合会と共に、引き続き、源泉かけ流し宣言をした虎杖浜温泉の魅力アップを図りながら、虎杖浜かに・たらこ・温泉三大祭りや日帰りバスツアー等の開催、更には、他市町内会老人クラブ誘客事業等を行い入込客の増につなげていきたい。

●2000年の森ポロト自然休養林については、キャンプ場のPRや冬の風物詩となっているポロト湖のワカサギ釣りを実施し、入込増を図ってまいります。

●白老町には、四季折々の魅力あふれる豊かな自然や観光資源、特産品がたくさんあります。昨年に引き続き、ふるさと納税「白老町ふるさとGENKI応援寄付金」の特産品発送を実施し、白老町を全国にPRしてまいります。

【個別事業の概要】

1. 広告宣伝事業

新聞や各種の情報誌等の媒体を通じ、白老町の国内での知名度を高めるための事業展開を積極的に図るとともに、白老町特有の観光資源の視覚的魅力を訴求するためにも、北海道観光振興機構等による事業への協賛及び独自広告宣伝物の作製を推進します。

◇取り組みの事業概要

○新聞・雑誌広告	250,000円
○旅行情報誌掲載事業	270,000円
○各種観光事業集客広告事業	100,000円
○誘導案内看板管理事業	133,000円
○インターネット事業	80,000円

2. 誘客事業

北海道観光振興機構、登別市・白老町観光連絡協議会等が行う誘客事業に協賛して白老町への誘客を促進するとともに、白老観光協会が独自に主催する共同誘致キャンペーンによる誘客促進と各事業者のホスピタリティ醸成が図れるような誘客活動を推進します。

◇取り組みの事業概要

○観光客・修学旅行誘客活動事業		360,000円
○道内外特別誘客活動事業	※白老町観光誘客推進会議	1,000,000円
○虎杖浜温泉観光活性化事業	※白老町観光誘客推進会議	600,000円
○「民族共生象徴空間」機運醸成事業	※白老町観光誘客推進会議	214,000円
○新たな観光資源調査検討事業	※白老町観光誘客推進会議	500,000円
○個人旅行者受入のための地域	※白老町観光誘客推進会議	3,240,000円

コーディネート事業

○訪日外国人顧客受入体制づくり事業	※白老町観光誘客推進会議	1,944,000円
-------------------	--------------	------------

(北海道観光振興機構、登別市・白老町観光連絡協議会、登別洞爺広域観光圏協議会等)

3. 会員指導育成事業

会員と白老観光協会を結ぶ情報手段として会報「かんこう白老」発行を行い情報発信を図ります。

◇取り組みの事業概要

○会報発行「かんこう白老」(年1回)	10,000円
--------------------	---------

4. まつり・イベント事業への協賛

町内外から多くの人を集める「まつり・イベント」は、情報発信の貴重な機会であることから、各まつり・イベントへ協賛し、観光情報の提供のための観光案内所を設置するとともに町内の各施設へ誘導するための施策を推進します。

◇取り組みの事業概要

○第28回白老牛肉まつり	6月	
○第6回虎杖浜かにたらこ温泉三大まつり	8月	
○2017年元気まちしらおい港まつり	7月	100,000円
○2017 BikeJIN祭り in 北海道@白老	9月	200,000円
○第40回登別漁港まつり	9月	
○第29回しらおいチェブ祭	9月	

5. 収益事業管理

ポロト地区への来訪者に対する利便性を高める便宜供与のために、公益法人を補完する収益事業を行います。また、地域コーディネーター機能の役割を中心とし職業体験や鮭遡上見学や白老ねっと商店等販売を推進しながら収益金の一部を一般会計へ繰り入れし、公益事業の拡大を図るために、効率的な運営を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老ふるさと 2000 年の森管理業務（指定管理者 5 カ年）	9,806,000 円
○自転車・カヌー貸付事業	50,000 円
○ポロト売店・自動販売機設置事業	55,000 円
○ワカサギ釣り事業	1,271,000 円
○白老ねっと商店事業（インターネット販売）	250,000 円
白老町ふるさと GENKI 応援寄附金事業（ふるさと納税）	
○コーディネーター事業（職業体験・鮭遡上見学等）	10,000 円

6. そ の 他

◇取り組みの事業概要

○観光資源推進活動調査費	50,000 円
--------------	----------

7. 会 議 等

◇主な会議の概要

○通 常 総 会	
○三 役 会	
○理 事 会	
○専 門 委 員 会	・白老町宣伝誘客推進会議
○各所属団体会議	